

第4回世界水族館会議
Fourth International Aquarium Congress Tokyo

世界各国の水族館長を中心とする関係者が一堂に会する、水族館関係で唯一の国際会議です。第4回目を迎える今回の会議では、東京都葛西臨海水族園がホスト館となり、アジアで初めて開かれます。各分野の研究者、専門家、市民、行政実務家が、それぞれの視点から、21世紀における都市施設としての水族館のありかたを論議していきます。

本会議はメンバー制をとっておらず、水族館周辺の問題に関心のある多くの方に広く開かれた会議です。水生生物の飼育技術や保護、建築・設備、環境問題、教育・文化、経営など、水族館をめぐる幅広い分野で、研究発表や情報交換が行われます。口頭発表のほかに、ポスターセッション、ビデオセッション、企業展示ブースも設置する予定です。

主 催：東京都・第4回世界水族館会議実行委員会
 テーマ：グローバルチャレンジ「共生水の惑星」
 会 場：東京国際展示場コンгрレス

会期：1996年6月14日（月）～27日（木）
 会議登録料：36,000円

セッション

オープニングセッション：理念セッション——

7つの海から——

研究発表

新展示・研究：魚類・海藻・無脊椎動物・
 海産哺乳動物・繁殖・人工孵化・採集・
 輸送・生態系展示の試み
 水処理・設備：循環濾過システム・オゾン
 教育活動：環境教育・新情報のメディアの活用・ボランティア活動

都市と水族館：都市の文化施設・水族館・ランドスケープデザイン・展示演出・ソフトデザイン・水族館の経済・マーケティング
 保全戦略：水域の保全と水族館の役割・種保存計画・飼育下繁殖・野外活動計画
 未来水族館：新水族館紹介・計画中の水族館紹介

問い合わせ先：第4回世界水族館会議事務局

〒134 東京都江戸川区臨海町

6-2-3

東京都葛西臨海水族園内

TEL 03-3869-0284

FAX 03-3869-5155

会記・Proceedings

魚類学雑誌
 43(1): 43-48

1995年度 第4回役員会

1996年2月27日（火），於 東京水産大学資源育成学科会議室。出席者：沖山，尼岡，松浦，佐野，林，馬場，大竹，瀬能，藤田，上野，山本（学会事務センター）。

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項 編集：*Ichthyological Research* 43(1)

を2月20日に発行した。評議員へ郵送により諮った編集顧問6名（国内1，海外5）と著者負担超過頁代の値下げは了承された。庶務：第17期日本学術会議団体登録期限は5月31日。

3. 会長（1998-1999年度）選挙開票結果 投票総数26，有効票26，無効票0——沖山宗雄（7票）新井良一（5票），松浦啓一（4票），その他1名（2票），8名（各1票）。以上の結果，沖山宗雄氏が次期会長に選出された。
4. 評議員（1996-1999年度）選挙開票結果 51名の評議員が選出された。北海道地区（5名）：尼岡邦夫，仲谷一宏，矢部衛，山崎文雄，後

藤 晃(次点、前川光司)；東北地区(2名)：井田 齊，佐原雄二(次点：大森迪夫)；関東地区(15名)：沖山宗雄，林 公義，松浦啓一，上野輝彌，新井良一，望月賢二，多紀保彦，藤田 清，瀬能 宏，宮 正樹，河野 博，谷内 透，塚本勝巳，坂本一男，佐野光彦(次点：岩田明久)；中部地区(9名)：本間義治，細谷和海，木村清志，鈴木克美，小野里坦，岡崎登志夫，桑村哲生，西田 瞳，長澤和也(次点：久保田 正)；近畿地区(7名)：中坊徹次，波戸岡清峰，荒賀忠一，岩井 保，中村 泉，川那部浩哉，田中 克(次点：幸田正典)；中国・四国地区(6名)：具島健二，谷口順彦，水野信彦，山岡耕作，岡村 収，町田吉彦(次点：柳沢康信)；九州・沖縄(7名)：多部田修，千田哲資，小沢貴和，中園明信，田北 徹，赤崎正人，吉野哲夫(次点：板沢靖男)。なお、九州・沖縄地区の千田氏が辞退のため、次点の板沢氏を繰り上げ当選とする。

5. 役員人事(1996-1997年度) 新役員は以下の通り(幹事は評議員会の承認をえて、会長が委嘱する);会長:尼岡邦夫;副会長:沖山宗雄;幹事 庶務幹事:瀬能 宏, 篠原現人;会計幹事:林 公義, 大竹二雄;会計監査:新井良一, 上野輝彌;編集幹事:宮 正樹, 河野博, 塚本勝巳;編集委員:松浦啓一(長), 後藤 晃, 細谷和海, 桑村哲生, 仲谷一宏, 岡崎登志夫, 坂本一男, 山内皓平;編集顧問:西田 瞳, Kurt D. Fausch (USA), Phillip C. Heemstra (South Africa), Jeffrey M. Leis (Australia), Jørgen G. Nielsen (Denmark), Lynne R. Parenti (USA)
 6. 1995年度決算案および1996・1997年度予算案について検討した。1996年度の評議員会は10月まで開催されないため、これらの案について郵送により評議員に承認を求めるに決まった。
 7. その他 1) 東京湾海洋環境シンポジウムは10月中・下旬に開かれる旨、同実行委員の工藤孝浩氏から報告があった。2) その他。

会員移動（1995年9月1日-1996年2月29日）